

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 宮城県白石市立白石中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒 989-0248
宮城県白石市南町一丁目2-79
 E-mail : info@shiroishi-j.shiroishi-c.ed.jp
 Website : http://www.shiroishi-j.myswan.ne.jp
 児童生徒数：男子 157 名 女子 135 名 合計 292 名
 児童・生徒の年齢 12 歳 ~ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について

活動名 「平和について考える」

①概要

白石中学校では、世界平和を脅かす原因と学校内で起きるいじめの原因には共通性があり、それは人間の自己中心的な感情にあるとした。世界平和の実現には、まずは自分たちの中学校の平和が大切であるとし、この小さな規模の平和のつながりが世界平和へと結び付くと考えた。

②活動の流れ

活動を学級、委員会そして平和フォーラムでの全校生徒による宣言と広げて行った。

○学級活動

- (i) 世界平和が脅かされている原因とその解決方法を考える。
- (ii) 世界平和が脅かされる原因と学校生活で起きるいじめの原因に共通性があることに気づく。
- (iii) そのためにまずは学級単位での平和を実現するための方法を考える。

○委員会活動

- (iv) 各クラスでの話し合いの結果を踏まえて、学校全体での平和を考える。
- (v) 「白石中学校いじめ撲滅スローガン」案を作成する。

○全体活動（全校生徒の参加）

- (vi) ロータリークラブ主催の平和フォーラムにおいて、「白石中学校いじめ撲滅スローガン」宣言を全校生徒が行った。

○成果の発表（生徒会代表）

- (vi) 白石中学校での「平和」への取組をまとめたものを「ユネスコスクール 新春のつどい」において発表した。

③活動のようす

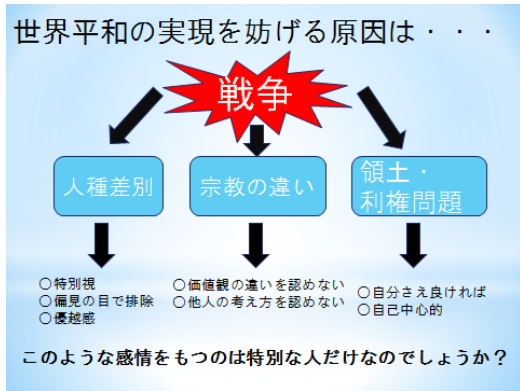


図1. 平和について考える

下図. 話し合いをまとめたスライド



図2. グループでの話し合い



私たちの生活の中でも・・・

できない人を → 見下す

違う考えの人を → 無視する

自分さえ良ければ → 無関心

私たちは

- ・互いに理解し合い
- ・互いに尊重し合い
- ・互いに良い所を見つけあう

↓

小さい平和の輪が、世界の平和へ結びつく

「白石中学校いじめ撲滅スローガン」

学校の平和から世界の平和へ
～まずは自分から変わる～

- ・今の自分を見つめよう
- ・小さな勇気をもとう
- ・違いを受け入れよう



図3. 平和フォーラムでの発表



図4. 新春のつどいでの実践発表

④成果

今すぐに世界平和実現を考えると難しいことだが、その原因が人間の「人を見下す」「無関心」「自己中心的」といった誰もがもちうる感情にあることに生徒は気づくことができた。この感情を改め、学校生活を送ることが世界平和へとつながるのではと生徒自身が考え、スローガンの作成につながった。さらに、平和フォーラムで宣言を行うことにより、生徒一人一人に責任をもたせることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）